「はたらくNIPPON!計画」A型シンポジウムin横浜報告書

～A型事業のあり方を考える～

＊日　時：平成30年2月24日（土）　12：30～17：00

＊場　所：横浜市開港記念館

＊参加者：197名（申し込み：207名）

■主催者：久保寺理事長

■来賓挨拶：神奈川県保健福祉局福祉部障害福祉課障害サービス課担当課長　弘末竜久氏

■行政説明

　①厚労省障害福祉課課長補佐　寺岡潤氏「就労継続支援A型事業の今後の方向性」について

　②厚労省障害者雇用対策課課長補佐　高澤航氏「障害者雇用の現状と課題」

■特別講演：社会福祉法人ぷろぼの理事長　山内民興氏「精神障害者の就労支援ぷろぼのの活動」

■財団報告：日本財団　竹村利通氏

■研究会報告＆提言：岩田克彦委員長

「中間的就労分野における基本的課題とA型事業の可能性研究事業」について

・全9回の研究会内で議論された以下の4つの論点を中心について報告＆提言を行う。

　論点1「A型事業所で質の高い働き方を実現するためにはどうしたらいか？」

　論点2「一般就労の促進」

　論点3「より就労困難な者に対する就労支援」

　論点4「その他の課題」

■シンポジウム

　座長：岩田克彦委員長

　シンポジスト：村木太郎委員、丸物正直委員、米澤旦委員、久保寺一男委員

内容研究会報告＆提言を受け各シンポジストがコメントを行う形態で行われました。

村木太郎委員：論点1に対する「良きA型」を目指した取組みとしての全Aネットの役割。

論点2に対する「福祉的就労」と「企業就労」の連携

丸物正直委員：論点1に対する精神障害者に対する就労支援

　　　　　　　論点3に対する「一般就労」と福祉就労のコラボレーションの必要性」

米澤　旦委員：論点3に対する「多様な働きづらさを抱えた人の就労の場としてのA型事業所」

久保寺一男委員：論点1に対する「みなし雇用制度」導入の必要性

　　　　　　　　論点4に対する労働行政と福祉行政の一体的展開の必要性

　＊全体として

　　A型事業が「雇用」と「福祉」にまたがる中間的就労の特性を活かして、健全な形で発展し「在るべき姿」を追求する為にも全Aネットの役割がますます大きくなる。